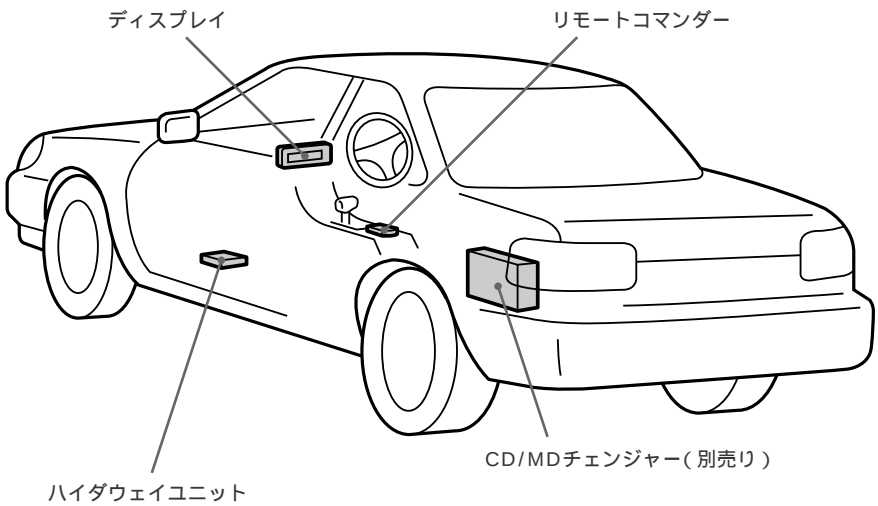


取り付け

取り付け場所

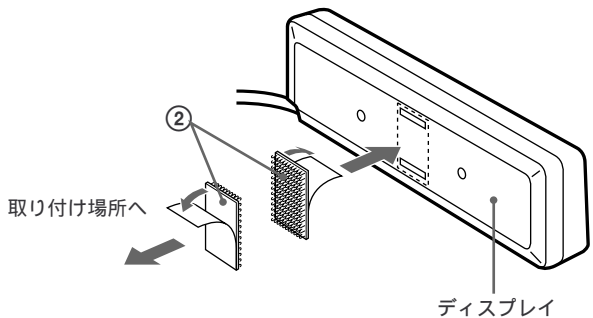
次のような場所に取り付けしないでください。

- 運転の妨げになる所
- 同乗者の安全を損なう所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
- ほこりの多い所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所



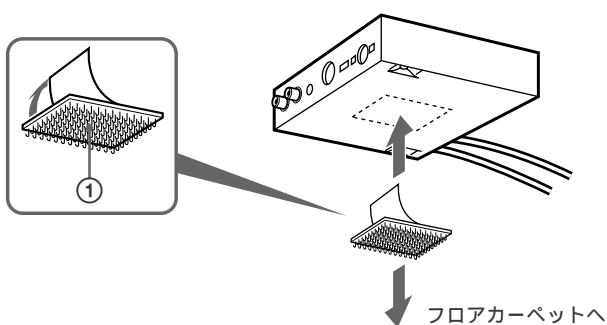
ディスプレイの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、②で運転の妨げにならない、見やすい位置に取り付けます。



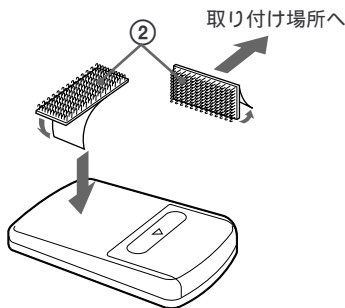
ハイダウェイユニットの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、①でシート下などのフロアカーベットに取り付けます。



リモートコマンダーの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、②で運転の妨げにならない位置に取り付けます。



ご注意

取り付け位置を決める前に、リモートコマンダーでシステムが操作できることを確認してください。



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、
24V車で使用すると火災などの原因となります。

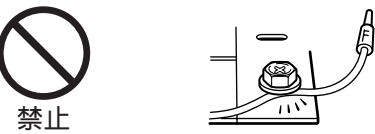


助手席用エアバッグシステムの動作を妨げ
ないように取り付け
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッ
グが正常に働かず、けがの原因となります。

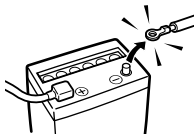


運転操作や車体の可動部を妨げないように
取り付け
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げにな
る場所に取り付けや配線をする、事故や感電、
火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子
をはずす
マイナス端子をつないだまま作業をすると、
ショートにより感電の原因となります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなど
にある車の性能を維持するための部品を使
わない
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリ
ングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使う
と、制動不能や火災の原因となります。

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっ
かり固定できないなどで、火災やけがの原因とな
ることがあります。



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を
与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっ
かり固定できないなどで、火災やけがの原因とな
ることがあります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

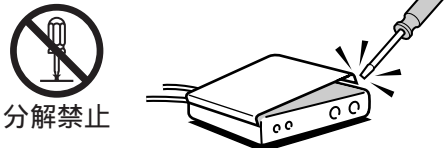
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付
けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位
置を確認してください。



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場
所には取り付けない
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の
原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。
電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を
取ると、リード線の電流容量を超えてしまいま
す。内部の点検や修理はお買上げ店またはソニー
サービス窓口にご依頼ください。



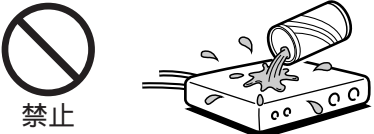
規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記さ
れた規定容量のアンペア数のものをお使いくだ
さい。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の
原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切
り、お買上げ店またはソニーサービス窓口にご相
談ください。



安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、
製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原
因となる場合があります。



SONY®

リモートコマンダー システム

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。



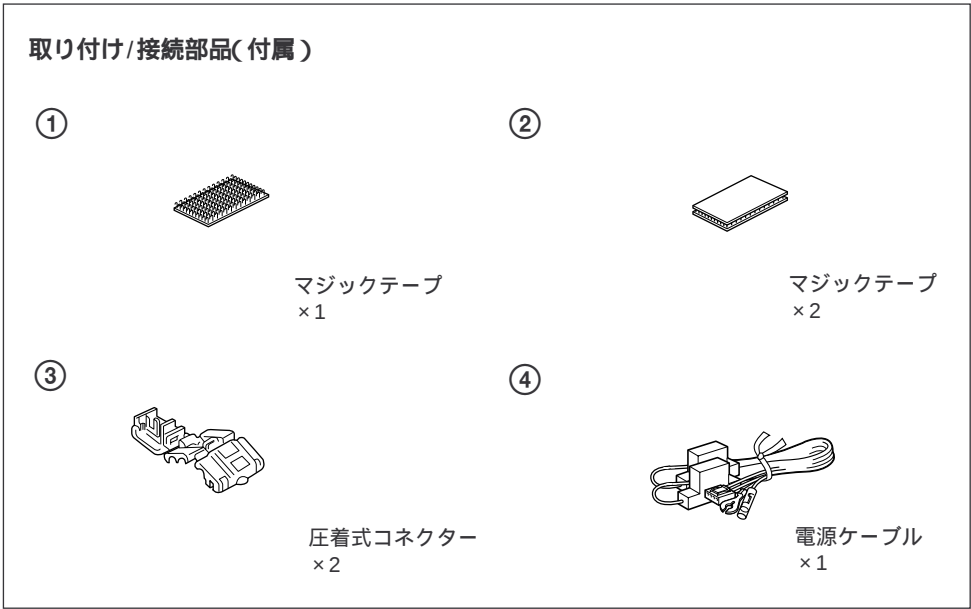
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐため
の重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この「取り付けと接続」および取扱説明書をよく読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する
本機の実装は車種や年式により異なり、専門知識が
必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取
り付けと接続」に従って、正しく取り付けください。
正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の
損傷の原因となります。

RM-X59RF

Sony Corporation © 1996 Printed in Japan



接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

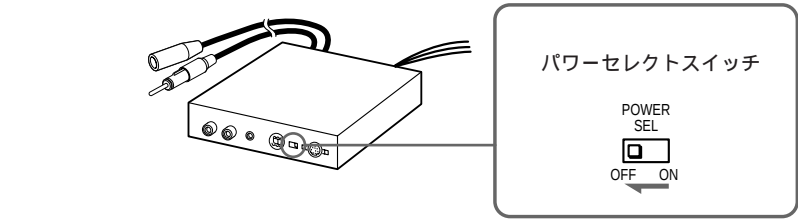
ショート事故を防ぐために

作業中のショート事故防止のため、電源コード(右図の赤色コードと黄色コード)の接続は、取り付け作業の最後に行うか、バッテリーのマイナス端子をはずしてから行うようにしてください。
ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けである車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

初期設定が必要なスイッチ

パワーセレクトスイッチ

イグニッションキーにアクセサリボジションのない車でお使いになる場合、ハイダウェイユニット側面にあるPOWER SELスイッチをOFFの位置に合わせてください。POWER SELスイッチがONの位置のままお使いになると、電源が切れずにバッテリーが消耗します。POWER SELスイッチの位置を換えた時は、必ずディスプレイの右側にあるリセットボタンを押してください。

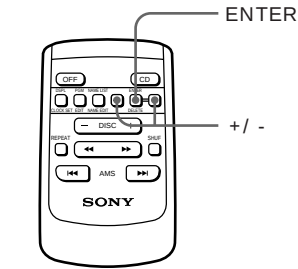


ご注意

パワーセレクトスイッチをOFFでお使いの場合は、停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を動作させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイのPOWERボタンを押してください。

送信周波数を切り換える

本機では、CDをFMチューナーで聞きます。そのため、聞いている周波数にFM放送があると、CD再生中に雑音が入ることがあります。その場合は、本機からFMチューナーへ送る周波数を切り換えてください。初期設定では88.3MHzに設定してあります。



1 ENTER/DELETE ボタンを2秒以上押す。
周波数切り換えモード(初期値は88.3MHz)に入ります。

2 、 を押し、周波数を選ぶ。
押すごとに周波数は次のように変わります。

: 88.3MHz → 89.9MHz → 89.7MHz → 88.7MHz

: 88.3MHz → 88.7MHz → 89.7MHz → 89.9MHz

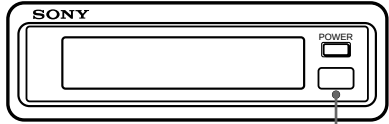
3 ENTER/DELETEボタンを2秒以上押す。

ご注意

切り換え後は、FMチューナーの受信周波数も変更してください。

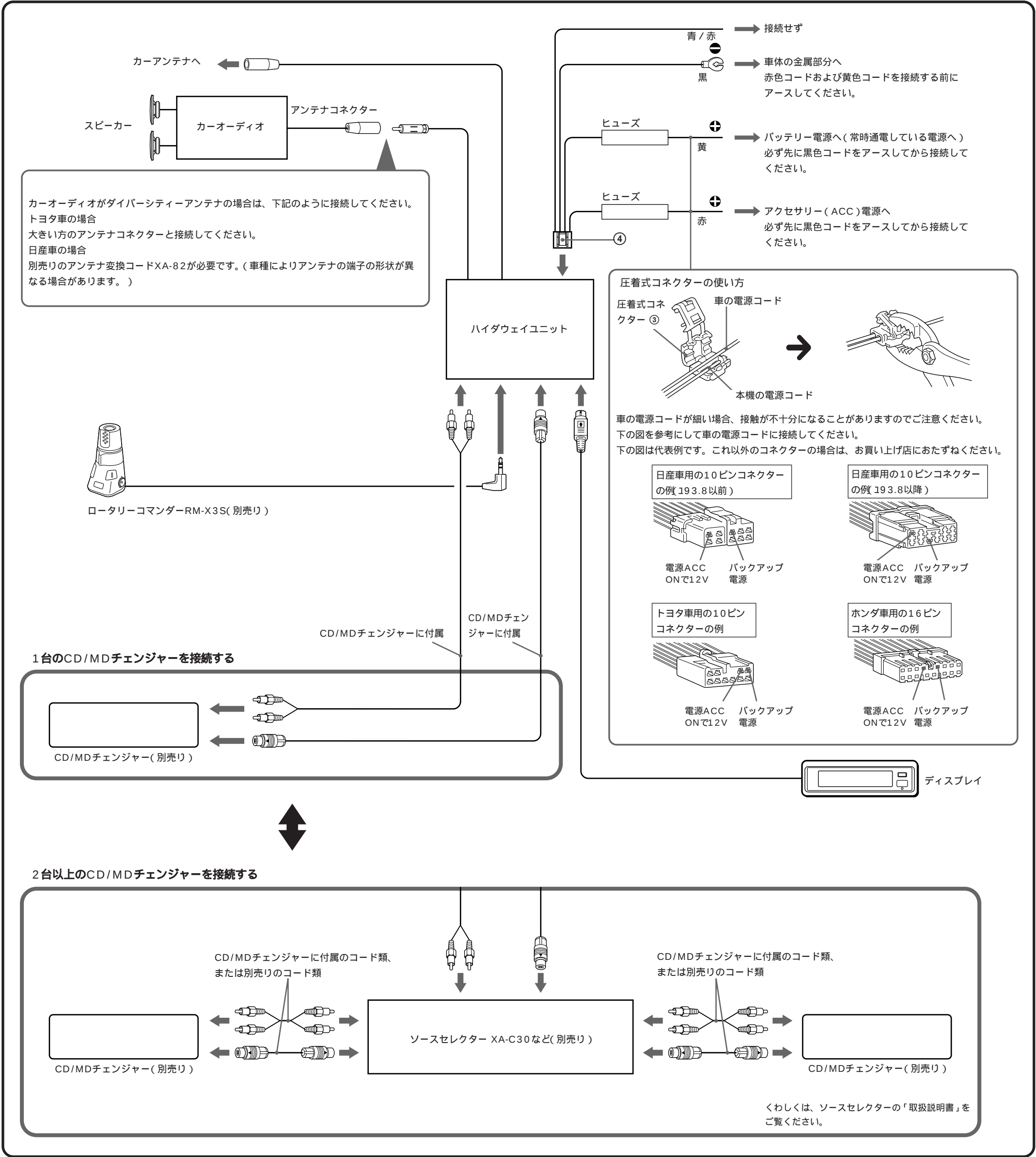
取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確かめてください。
- 必ず、ディスプレイの右側にあるリセットボタンをボールペンの先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因になります。



リセットボタン

- 故障かな? と思った場合は、接続をもう一度確認するとともに、取扱説明書の「故障かな? と思ったら」をご覧ください。



電源コードの色分け

赤色コード

アクセサリ(ACC)電源入力コード。
車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)につなぎます。

黄色コード

動作電源入力コード。
車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところにつなぎます。ディスプレイのPOWERボタン、リモートコマンダーのOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。

黒色コード

アース用コード。
車体の金属部分に確実にアースしてください。

ヒューズ

電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。